

き、2階の学習室には中高生向けの本を置きました。令和6年度も2日間にわたり行いましたが例年とほぼ同じ実績でした。

委員：残った本はどうなるのか。

事務局：残った本や雑誌類は、障害者団体さんに資源として引き取ってもらうこともあります。例年は箱にしまって保管し、新しく出た除籍本と一緒に翌年に出します。残り続けているものもありますが、あまりにも状態が悪いものは廃棄処分となります。

委員長：今年度は生涯学習センターで赤ちゃんや妊婦を対象とした「おはなし会」を開始した。今後も対象範囲が広がるといいと思う。

事務局：今後は、読み聞かせ、手遊び、パネルシアター等を通じ、乳幼児期の読書環境づくりを推進したいと考えています。

委員長：例年保健センターとの連携として、4ヶ月健診の待ち時間に図書館館外利用券の発行や図書館案内を行っている。今後は待ち時間に絵本読み聞かせを実施できたらと考えている。

委員：生涯学習センターや保健センターで実施していることは、将来的に本を読む習慣づくりをするために行っていることか。

事務局：生涯学習センターでは手遊びなど実際に触れあっております。保健センターでは主に図書館で利用するカード作成を行っています。目的は図書館に来てもらい本に親しんでもらうためです。

(2) 令和8年度事業計画について

事務局説明

委員長：4月に開催する「おりがみ教室こいのぼりスを作ろう」ですが、申し込みは始まっているのか。

事務局：4月1日から申し込みを受け付けます。

委員長：おりがみは小学生にも人気で楽しそうである。

委員：令和7年度に開催した「豆本づくり」は令和8年度開催しないのか。

事務局：講師を招かず職員で開催して好評でした。開催しやすい事業なので調整します。

(3) 第4次子ども読書活動推進計画について

事務局より資料3及び資料4の説明

委員から事前に寄せられた意見とその対応について審議。誤字や表現の修正、より効果的な読書推進策について議論が行われた。

パブリックコメントについて、令和8年2月19日(水)から3月20日(金)までの30日間実施したが意見提出はなしと報告。

(4) その他について

畠山委員が長年にわたる協議会委員の活動が認められて全国公立図書館協議会より表彰。

小杉委員長が代表を務める岩倉市大型紙芝居等作成実行委員会が、令和8年度子供の読書活動優秀実践校団体部門で 文部科学大臣賞を受賞されたことを事務局より報告。

委員長：他に無ければ令和7年度第3回岩倉市図書館協議会の協議事項を終え、会議を終了する。